

■ 全体講評

4 問中 2 問の選択になります。問 1 は、アパレル製造・販売企業の新システム構築についての設問、問 2 は、建設機器商社の販売物流システム企画についての設問、問 3 は、計測機器メーカーの営業業務に関する設問、問 4 は紛失防止タグの製品企画についての設問です。このように、業種やテーマが広範囲にまたがって出題されています。自分の経験や知識のいかせるテーマを選んで解答することが大事ですが、あまり専門にこだわらずに、解答しやすい問題を選んでください。問 1、問 2 を選択する人が大多数を占めています。

問題によって平均点にかなり違いがあります。例えば、問 1 は、アパレル製品の在庫管理や生産計画ということで、比較的取り組みやすいのか大多数の方がこれを選んでいますが、全般に低得点が目立ちます。設問の主旨をどう解釈するかでいろいろ解答が分かれるためと考えられます。その点、問 4 は技術的な設問で、解答は技術的に一意なので迷うことが少なく、高得点が目立ちます。同様に問 2、問 3 は難問で高得点者は多くありませんでした。

試験では、問題を読んですばやく難易度を推定し、問題を選択する適切な判断が望まれます。それぞれ長文の問題を読んで、すぐに設問に答えなければならないので、時間が足りません。短時間で解答しやすい問題を選ぶのも、能力のひとつになります。設問をよく読んで「何が要求されているか」をすばやく理解することが重要です。そのためには、いきなり問題文を読むのではなく、まず設問から読むことが大切です。設問を読みながらポイントなところアンダーラインを引いて、設問内容を意識しながら問題文を読むことが重要です。

出題者の意図をよく考えて解答することも重要です。設問で何が問われているかを必ず確認し、ポイントになる内容を分かりやすく記述することです。今回の公開模試でも、設問で問われていないことを答えているものが多く見られました。

キーワードの誤字は、減点になります。例えば、設問 1 で、「購買情報」を「購売情報」、「棚卸し」を「棚御し」と間違えた解答は、減点しました。十分に注意しましょう。

試験当日は、集中力、精神力、体力の勝負になるので、最後まであきらめずに必ず合格するという強い意識をもって臨むようにしましょう。

問1 アパレル製造・販売企業における新システム構築

【採点基準】

[設問 1]

(1) ポイントカードを IC カードに変更するメリットを挙げる。(2) POS 端末を IC タグ値札に変更することによる店員の作業の効率化を述べる。それぞれ解答例の趣旨にあった解答であれば各 7 点。その他の答えは基本的に 0 点。

[設問 2]

在庫管理について、(1) 店舗の在庫データの正確性が高まる理由を二つ挙げる。(2) 在庫情報を正確に把握する理由を述べる。解答例どおりの表現であれば各 6 点。それ以外は 0 点。

[設問 3]

生産計画について、(1) 生産計画がより需要にあったものになる理由を二つ挙げる。(2) 生地納期を短くするために新システムに追加すべき機能を述べる。解答例の趣旨にあった解答であれば各 6 点。それ以外は、基本的に 0 点。

【講評】

アパレル製造・販売企業の販売店頭における情報化の事例です。紙のポイントカードを IC カードにすること、POS データと顧客情報を活用する事例が増えています。取り組みやすい問題ですが、設問 3 は生産計画に限定した解答が要求されるのに生産計画以外の解答をするなど、設問の意図に合わない解答が多く、ほとんどが低得点となりました。

設問 1 では、

(1) ポイントカードを IC カードに変更するメリットとして、解答は「顧客毎の時系列の購買情報を取得して新商品開発などに活用できる」です。

購買情報がキーワードです。「購売」情報と間違える人が多いですが、このような初歩的ミスは減点です。

(2) IC タグ値札に変更することによる店員の作業の効率化については「複数の商品の値札を一度に読み取れるので、精算入力の手間が軽減できる」という解答がすぐに浮かぶと思います。「会計作業の軽減」は正解ですが、「棚卸し作業」は対象外になります。間違い解答の多くは「ファックス送信作業が軽減できる」という解答です。ここでは、店員の POS 端末作業としての IC タグによる値札読取りが対象となります。注意してください。正解者の少ない設問でした。

設問2は、在庫管理についての設問です。

(1)店舗の在庫データが正確になる理由を二つ考えます。その理由は①「棚卸しの頻度が高くなり、コンピュータ在庫との差異がこまめに修正されるから」、及び②「POSの売り上げデータの入力間違いが発生しないから」という解答になります。「単品情報が得られ、入力エラーが少なくなる」ことが重要です。

間違い解答として多かったのは「リアルタイムで伝送されること」を挙げていることです。リアルタイムは設問の趣旨から外れた解答になります。なお、「リアルタイムで棚卸しをする」というのも間違った解答になります。棚卸しは「毎日」です。

(2)在庫情報を正確に把握する理由を挙げます。ここでは「店頭販売の視点から」という前提で考えることが重要です。正解は「店頭に並んでから一定期間経っている商品を把握すること、その結果「価格引き下げ」「生産計画の中止」ができることが挙げられます。

「一般的な売行きを判断する」という一般論ではありません。売れ残りを判断するのです。

設問3では、生産計画について考えます。

(1)新システムによって、生産計画がより需要に合ったものになる理由を二つ挙げます。解答は、

①商品の売り上げを見ながら追加生産を行うため、
②トレンド情報がきめ細かく把握できるため、
となります。②は「流行の変化を把握する」でも良いですが、「企画サイクルを2週間短縮する」ではありません。「生産計画が需要にあったものにすること」に直接関係ありませんので注意してください

(2)生産を短くするために新システムに追加すべき機能を考えます。「商品別の販売見込み数量から、必要な生地量を計算する機能」とするのが正解になります。

ここで多くの人が「生地の色を指定できる」とだけ書いていますが、これは不正解です。「色別の生地を生産量を計算する」ことが必要です。また単に「発注量を計算する」のも不正解になります。

問2 グローバル展開する建設機器商社の販売・物流管理システム企画

【採点基準】

[設問1] 業務プロセスについて、

(1)記述ルールについて、(2)各拠点への指示についてそれぞれ述べる。解答例どおりであれば各8点。その他は、基本的に0点。

[設問2]

(1)権限付与方式について、(2)画面表示上の工夫を述

べる。解答例どおりの表現であれば各8点。その他は0点。

[設問3]

(1)標準用語集の作成について述べる。解答例どおりであれば7点。(2)追加収集すべき管理項目を挙げ、その理由について、それぞれ述べる。解答例どおりであれば管理項目が5点、理由が6点。その他は、基本的に0点。

【講評】

グローバル展開する商社のシステム企画について、業務プロセスと部署の関係、異動者の付与権限などを聞く設問です。あまりなじみのない「粒度」とか「文書の定数化」など難解な文章が続くので、この設問を選んだ解答者は非常に少ない状況です。

設問1 業務プロセスについて

(1)必要な記述ルールとは、「1プロセスを実施する組織を一つの部署に限定すること」、又は「1プロセスの実施主体が複数の部署にまたがってはならないこと」です。「部署をまたがる業務はプロセスを分ける」という解答も正解とします。「システム画面」のことではありませんので注意してください。この設問では、設問の主旨が理解できない人が大勢いました。

(2)各拠点への指示について「プロセスへのインプットとプロセスのアウトプットを統一基準に則り定義すること」となります。「業務プロセスの定義」は間違いです。正解は非常に少ない設問でした。

設問2(1)権限付与方式について、(2)画面表示上の工夫を述べます。

(1)権限付与方式について、正解は「部署と役職に対して権限付与を行い、個人には部署と役職を割り当てるようにする」です。個人に割り当てることが重要であり、「グループで割り当てる」という解答や、システムで「自動的に割り当てる」という解答も不正解です。

「個人に例外的な権限を割り当てる」ということは不要です。

(2)画面表示上の工夫として「利用者個人ごとに使用言語を定義して、画面は該当利用者の使用言語に応じて表示する」又は「必要の都度利用者ごとに使用言語を切り替えて表示できる機能を用意する」が正解です。「使用言語を設定できるようにする」ことも正解になります。

この設問で「英語との対応表を作る」「文言の定数化をする」は必要ありません。いずれも不正解です。

設問3(1)標準用語集の作成について、及び(2)追加収集すべき管理項目を挙げ、その理由について述べます。

(1)標準用語集の作成についてグローバル企業であるので「英語で定義された各種用語と各国語との対応を整

備する」という解答になります。「各拠点で共通の用語集を作成する」ことは不要です。この解答は不正解です。

(2)追加収集すべき管理項目は「各国の翌年度の公共工事の国家予算」。その理由は「公共工事予算と建設機器の需要には正の相関関係があるから」となります。この設問は、わかりやすくほぼ全員が正解でした。

問3 計測機器メーカーの営業業務

【採点基準】

〔設問1〕

(1)受注予測精度が向上する理由、及び(2)売り上げ向上が期待できる理由を挙げる。解答例と同様の場合各8点。その他は0点。

〔設問2〕

(1)CADの導入メリットについて、(2)SFAで営業ステージを自動判定する方法について、それぞれ解答します。解答例どおりの解答の場合各8点。その他は、基本的に0点。

〔設問3〕

(1)個別消し込みによって請求業務が効率化する理由を挙げる。解答例どおりの解答の場合8点。(2)EDIによって請求業務が効率化する理由を二つ挙げる。各5点。その他は、基本的に0点。

【講評】

SFAを使った営業業務の業務改善及びCADシステム化のポイントを押さえることで解答が導かれます。問題文をよく読めば、解答は比較的容易に導き出されますが、高得点者はあまり多くいませんでした。

設問1(1)受注予測精度が向上する理由は、「各案件がどのステージにいるかを判断することで全体の受注予測が的確になるから」であることはすぐにわかります。営業プロセスを統一して共通の基準としての「ステージ」を作ることになるので、ステージがキーワードになります。ただ単に「はっきりした根拠に基づくから」や「客観的なルールに基づくから」では解答としては不備です。

(2)売り上げ向上が期待できる理由として「各案件のステージに対応する活動項目が定義されており営業活動が的確になるから」が正解です。これは、簡単に解答が見つかり、ほぼ全員が正解者となるやさしい設問です。「活動項目が定義されている」ことが重要で、情報共有、作業の効率化などは、不正解になります。

設問2では、CAD、SFAを導入した結果を考えます。

(1)は、CADの導入メリットについて、文中に図面のデータベースを作ることが述べられており、その点に気

がつけば、解答はすぐにわかります。「図面がデータベース化されるので、過去の類似の図面を参考にすることができるから」となります。「データベース化」がキーワードになるので、単なる「検索して活用」という解答は不備です。また「工場へのファックス送信作業が不要になる」という解答も的外れになります。

(2)SFAで営業ステージを自動判定する方法について、「営業日誌でSFAに必要な活動項目が入力されているかどうかで、どのステージなのかを判断する」となりません。正解者が多い設問です。ここでは判定方法を問われているので、「活動内容の項目を選ばせる」というのはやや的外れの解答になります。

設問3請求業務の効率化について、

(1)個別消し込みによって請求業務が効率化する理由を挙げます。「手数料等の売掛金の差異がその都度確認でき、取引先との売掛金の相違が少なくなるから」となります。「都度確認」がキーワードになります。突合作業の手間はあまり変わりません。「遅れている入金督促」ではありません

(2)EDIによって請求業務が効率化する理由を二つ挙げます。①人手を介さずに消し込み処理ができるから。

②手数料等の処理も自動化できるから。というのが解答です。「入金(支払)データと請求データの突合」「手数料を含めた入金処理」なども正解にします。

上記以外の表現での解答が多かったですが、模範解答との主旨が合っていれば正解とします。

ただし、「金融機関との連携」「ネットバンキングの活用」「滞留している売掛金請求の発行」などは、不正解です。

問4 紛失防止タグの製品企画

【採点基準】

〔設問1〕

(1)は、顧客層の設定について、(2)は利用者に求めるITリテラシについて、それぞれ解答します。解答例どおりであれば(1)は9点、(2)は8点。その他は、基本的に0点。

〔設問2〕

(1)新通信規格の特徴について書きます。解答例どおりであれば、7点となります。その他は0点。

(2)製品が普及するようになった近年の市場要因について正しく書かれていれば、8点となります。その他は0点。

〔設問3〕

(1)不用意に警報音が鳴らないための改善点について、及び(2)中高年に販売するための工夫が、それぞれ

正しく書かれていれば、各9点。その他は、基本的に0点。

【講評】

スマートフォンの紛失防止タグの製品企画ということで、かなり専門知識が必要と感じた方が多かったですが、設問1はユーザの定義とITリテラシの内容の話、設問2,3はやや技術的な話があり、取り組みにくいテーマですが、解答は易しく高得点が目立ちます。

設問1(1)はD社が発売するときの優位性を書きます。解答は「D社の個人顧客はITリテラシが高く、新製品の初期採用者になるから」となります。「マニア向け」という解答はやや不適切です。ここで若者、中高年など年代はあまり関係がありません。

(2)はITリテラシの中で特に求める最低限のことを書きます。「自分のスマートフォンに指定アプリをインストールして、初期設定を行うこと」が挙げられます。初期設定(ペアリング)と書いてもいいでしょう。アプリのインストールと初期設定のどちらかしか書かれていない解答が多いですが、半分正解とします。

設問2では、(1)新通信規格の特徴について「低電力化が進み、電池の持ちが良くなったこと」を書きます。この設問はほぼ全員正解です。

(2)この製品が普及するようになった近年の市場要因には「近距離無線通信規格(Bluetooth)の最新版に対応するスマートフォンが普及していること」が解答になります。

ただし新通信規格のことが書かれてなく、「スマホが普及している」ことだけしか書いてない解答は、半分正解です。「ICT活用の道具や機器の普及」は、ややずれている解答です。

設問3は、ランニングウォッチの技術論から一転、一般的な話になります。

(1)不用意に警報音が鳴らないための改善点について考えます。「接続切断してもすぐに警報を出さず、一定期間切断状態が続いたら警報を出す」という解答が得られます。

多くあった解答は「通信状態の悪化を判断して警報する機能」と結びつけた処理を書いています。そこまでの高機能搭載は難しいと思われるので、不正解にします。「光やバイブレーションによる警報」という解答も設問の主旨から外れています。

(2)中高年に販売するための工夫について書きます。「アプリの初期状態で一般的な使い方をする設定にするようにする」という趣旨のことが書かれていればよいでしょう。「一般的な使い方」とは何かをあまり追求しなくて良いと思います。「ダウンロードの単純化」「容易

な操作」などが書かれていればよいでしょう。デザイン面はあまり重要ではありません。紛失防止、鳴動停止、復帰操作などにこだわる解答は不適切です。

以上